2023 年 12 月 22 日
東京海上日動火災保険株式会社

グローバル企業向けリスクマネジメント・デジタルプラットフォーム “TM Station Portal”の提供開始

東京海上日動火災保険株式会社（取締役社長：広瀬　伸一、以下「当社」）は、グローバルに事業を展開する企業の保険契約の一元管理や、拠点ごとの自然災害リスク分析・事故対応状況の可視化などの機能を有するリスクマネジメント・デジタルプラットフォーム“TM Station Portal”（以下「デジタルプラットフォーム」）の提供を開始します。

当社は、デジタルプラットフォームの提供を通じて、企業の更なるグローバルな事業展開の促進やリスクマネジメントの高度化を支援していきます。

1. 開発の背景

近年、世界各地で多発する自然災害による被害や、事業に大きな影響を及ぼすサイバー攻撃・感染症の発生、国際情勢の変化に伴う地政学リスクの高まりなど、企業を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中、グローバルに事業を展開する企業においては、日本国内の拠点に留まらず、海外の拠点を含めたグローバルでのリスクマネジメントを行う必要性が高まっています。一方で、海外拠点の情報をタイムリーに把握する仕組みや海外拠点も含めた保険契約管理の仕組みを構築するには多大なロードがかかることから、グローバルに事業を展開する企業にとって大きな課題となっております。

これまで当社は、企業のグローバル展開をサポートするため、保険商品やリスクコンサルティングサービスなどを提供してきましたが、企業のリスクマネジメントをグローバルレベルで一層強力に支援するため、新たなデジタルプラットフォームを開発しました。

2. デジタルプラットフォームの概要

デジタルプラットフォームは、主に3つの機能で構成されています。当社のシステムと連動させることで、各種保険契約情報や事故対応情報などのタイムリーな把握が可能です。

【各機能の概要】

機能	名称	概要
契約情報管理	TM-GO Tokio Marine Global Operation	グローバル保険プログラム※の新規組成・更新にあたり、国内外のコミュニケーションをプラットフォーム上で行うことで、手続き状況や対応プロセスの見える化、各国で発行される保険証券の一元管理が可能です。 ※　本社が世界各国に所在するグループ各社の保険契約を一元的に管理・運営する保険プログラム
リスク情報管理	TM-GRS Tokio Marine Global Risk Management Support	地図上に契約者の国内外の拠点を表示し、拠点毎の契約情報を確認することができます。更に拠点毎の自然災害リスク(地震・洪水・風災等)のハザードマップやリスク評価に関する情報、リスク調査結果の確認も可能です。 今後、リアルタイムの気象データや衛星画像を提供する機能拡充を検討していきます。

事故情報管理	**GRECS** Global Reliance Electronic System	プラットフォームを通じて、事故報告から保険金の支払いまでの一連の保険金請求手続きをオンラインで行うことができます。企業の責任者が、世界各国で発生した事故の対応状況やそれぞれの事故の手続き状況をタイムリーに把握することが可能です。

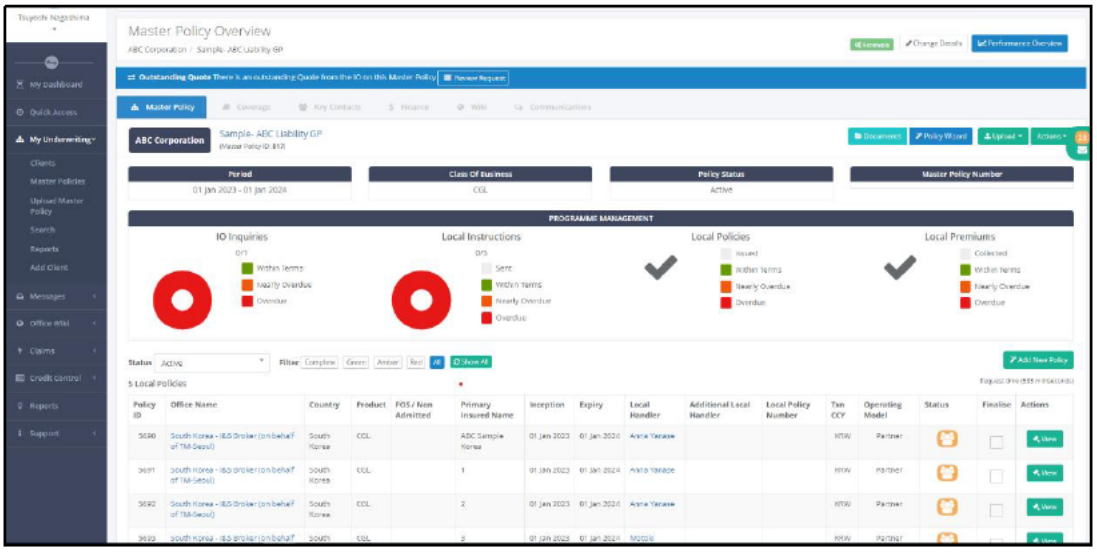
3. 今後について

当社は今後、外部機関・企業との協業によりデジタルプラットフォームの機能拡充を進めていく予定です。リスク管理情報機能（TM-GRS）においては、衛星データを活用したサービス開発の分野で 2023 年 5 月から協業を開始している株式会社 QPS 研究所（代表取締役 CEO：大西俊輔）と連携し、同社の小型 SAR 衛星商用機から取得するデータを企業に提供することを予定しています。国内外の拠点で災害が発生した際、拠点周辺の衛星画像データを取得し企業に提供することで、タイムリーな状況把握や被害低減に向けた対策を支援していきます。

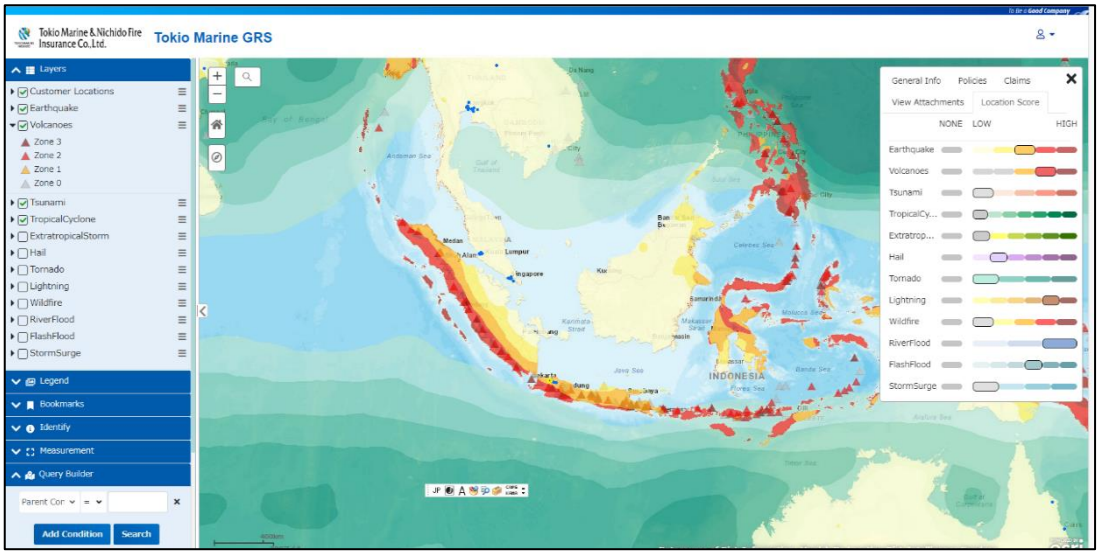
当社は、デジタルプラットフォームの提供を通じて、企業のグローバル展開やリスクマネジメントの高度化に貢献していきます。

【ご参考：デジタルプラットフォーム“TM Station Portal”のイメージ】

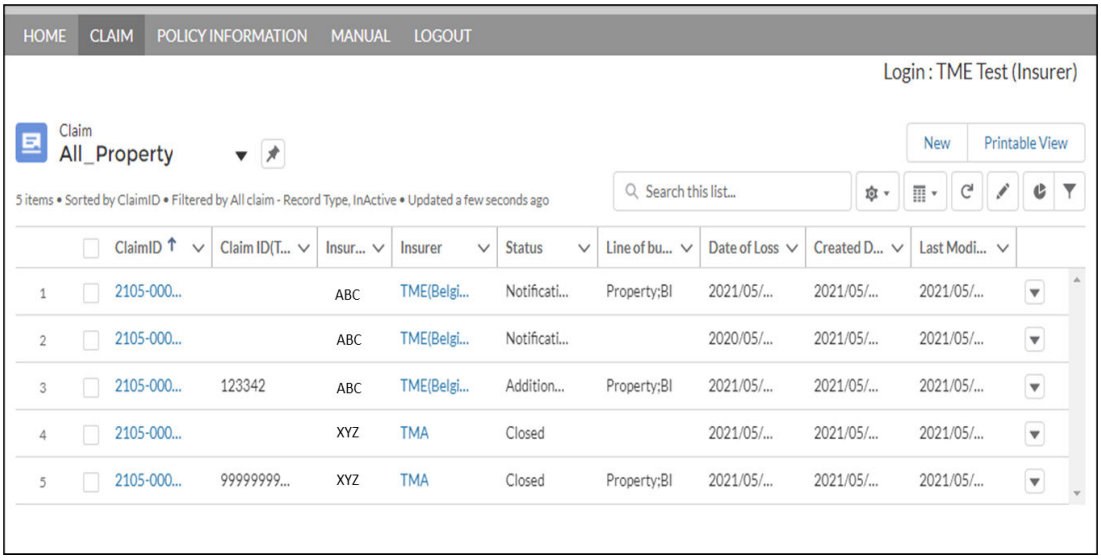
■契約情報管理機能（TM-GO）



■リスク情報管理機能（TM-GRS）



■事故情報管理機能（GRECS）



以上